～地域と行政を繋ぐ挑戦の現場へ～

＜視察研修会＞

団体詳細は裏面を見てね

一般社団法人 なんと未来支援センター

地域づくりの中間支援組織として、
民と官を繋ぐ公の立場で、
相互の信頼を構築し地域や行政の課題解決に取り組む。

2025年1月18日(土)

13時～17時
視察先へは貸切バスで移動します

13時　射水市役所集合
14時～15時45分　視察
17時　射水市役所解散

参加無料

事前申込必要

こちらから申込みください。

申込締切　1月9日(木)



【主催】射水市 市民活躍･文化課 【企画･運営】 射水まちづくりネットワーク
TEL　0766-54-0526

【主催】射水市 市民活躍･文化課 【企画･運営】 射水まちづくりネットワーク
TEL　0766-54-0526

参加無料

事前申込必要

こちらから申込みください。

申込締切　1月9日(木)

～まちづくり談話室1周年記念～

＜まちづくり講演会＞

2025年1月19日(日)

18時～19時
救急薬品市民交流プラザ　研修室

【テーマ】
『先に聞いておけばよかった！』って言われる
まちづくりのポイント

【講　師】
NPO法人市民活動サポートセンターとやま
代表理事　能登 貴史 氏

講師紹介は裏面を見てね

講演会終了後、情報交換等の場として、まちづくり談話室を同館 和室１・２にて、21時まで開催します。途中退室可・事前申込不要です。

1月18日(土)視察先

一般社団法人なんと未来支援センター

＜設立経緯＞

南砺市は、2004 年 11 月に 4 町 4 村が合併して誕生し、今年 15 年目を迎えますが、合併後も少子高齢化・人口減少が進み、地域の機能維持が大きな課題です。南砺市は移住定住や婚活への支援などに積極的に取り組んできました。2019 年 4 月、住民主体の地域課題解決を目指して、南砺市全域で自治振興会、公民館と地区社協を統合した「地域づくり協議会」が設立され、小規模多機能自治がスタートしました。

これに先立ち、2018 年 11 月、南砺市のまちづくりを進める「協働のまちづくり推進会議」が、地域づくり協議会などに対する迅速で柔軟な支援やその支援の継続性などを勘案し、市長に中間支援組織の必要性を提言しました。この趣旨に賛同した有志によって、2019 年 4月 1 日、一般社団法人なんと未来支援センターが設立されました。

＜目的＞　定款より

地域が抱える諸問題の解決を目指す多様な主体並びにその取組に対し、行政と地域の連携をより強固にするための中間的なサポートを通じて、地域の活性化及び小規模多機能型の社会づくりに資することを目的とする。

https://www.nanto-mirai.jp/ より



1月19日(日)講師プロフィール

能登 貴史（のと たかふみ）氏

NPO法人市民活動サポートセンターとやま　代表理事
NPO法人PCTOOL　代表理事

1962年富山県井波町（南砺市）生まれ。大手ファーストフード会社を退社後、本当はなにがしたいのか？自分は社会に対してなにができるのか？いろいろ自問した末の答えが、パソコンでがんばっている人たちの支援でした。2001年NPO法人PCTOOLを設立、パソコンは市民活動ボランティア活動の最大の武器これをうまく使いこなしていこうということでパソコン講座を開催、ITコンサルタントとしてパソコンのトラブルサポートなど市民活動団体の情報化を支援している。

また、2006年から富山県内の市民活動団体のネットワーク組織NGO・NPOネットワークとやまの代表世話役を務める。2009年より富山市災害ボランティアネットワーク富山会長を兼任、災害ボランティア活動を広め理解してもらうために活動をしている。2010年 市民活動サポートセンターとやま設立 代表理事。

**********最近思うコト**********

NPO という市民参加型の地域組織やボランティア団体が、これからの社会を作って行く上で重要な役割を担い始めてきています。NPO が単なる組織の形態から、労働形態、生き方そのものまで進化してきています。
NPO として働きながら、生き生き元気に生活する人が増えることが、地域社会を元気にさせる大切な要因となってきます。
元気になった地域が増えれば、地方が元気に、元気になった地方が増えれば日本も元気になる。そういったことを思って毎日活動しています。

****

講師からいただいたプロフィールから